

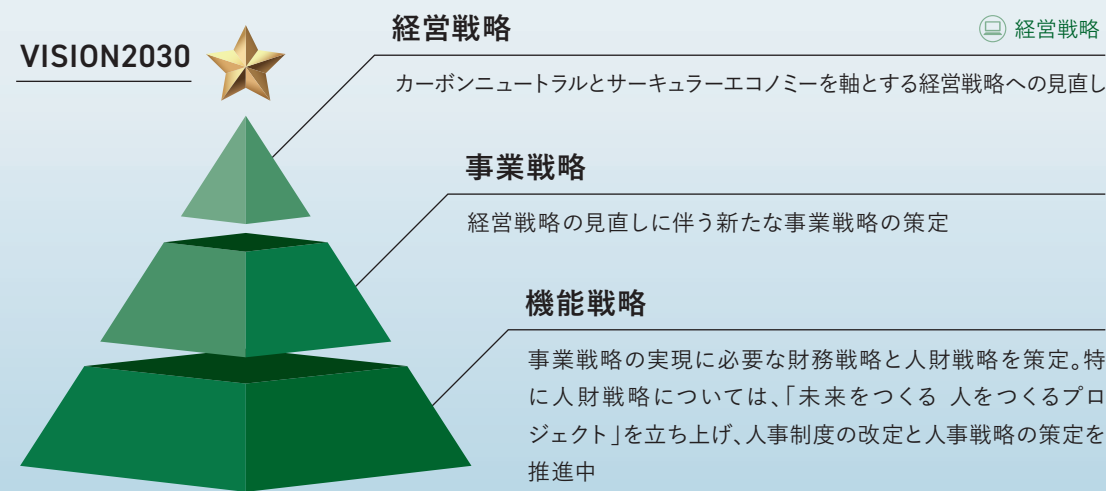
成長戦略

長期経営ビジョン VISION2030

2017年度比で売上高3倍・営業利益3倍・ROE15%を目指す。

2010年代以降の環境意識の高まりなどによる外部環境の変化とさらなる飛躍のため、ダイセキは2018年6月に長期経営ビジョンであるVISION2030を策定しました。その後国内でもカーボンニュートラルに向けた政策が強化され、サーキュラーエコノミーに向けた取り組みがスタートしました。ダイセキグループはこのような外部環境の変化によるリスクと機会を見極めながら、戦略を策定し具体的な取り組みを進めていきます。

VISION2030達成のための戦略の基本構造



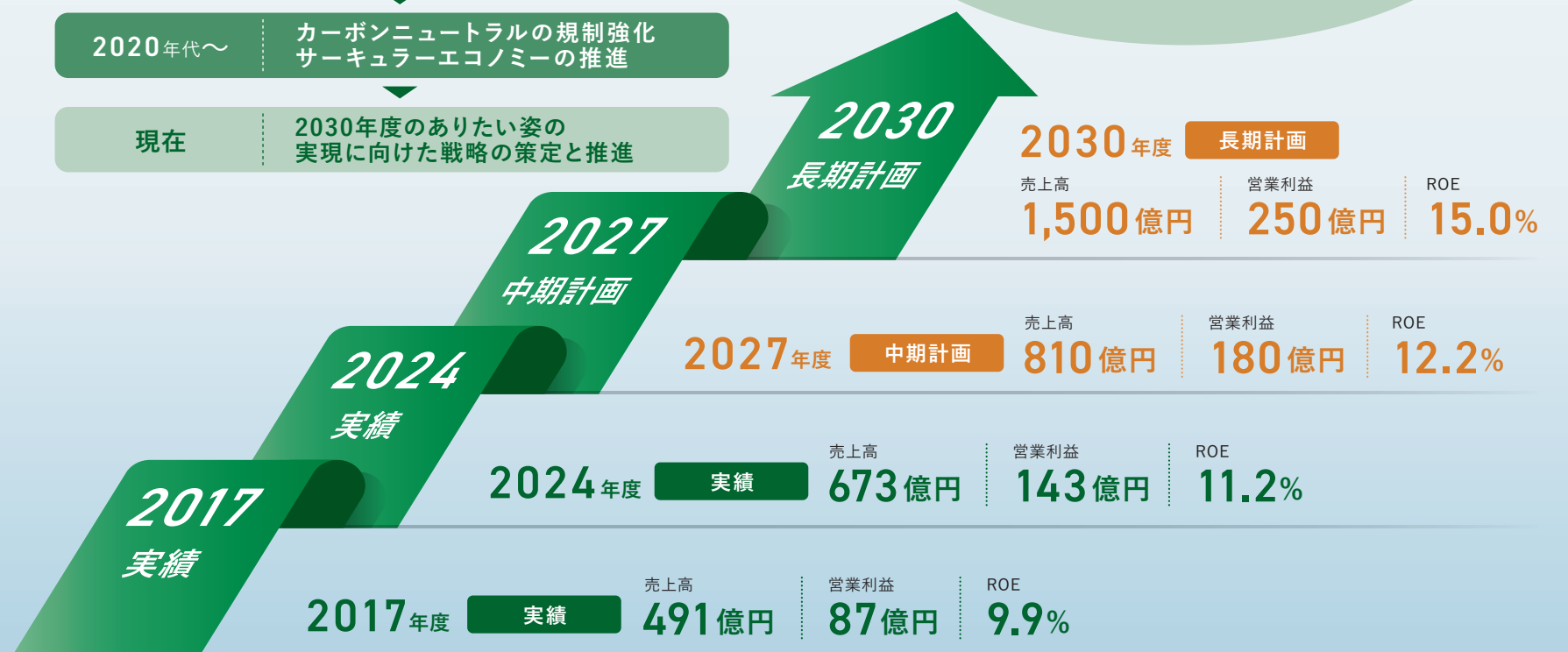
外部環境の変化とダイセキの対応



パーパスの体現・100年続く企業へ

サーキュラーエコノミー型ビジネスに必要なバリューチェーンの構築

VISION2030で目指す姿



具体的な目標と施策の進捗状況

2025年4月の決算発表で開示したVISION2030の具体的な目標と進捗状況は以下の通りです。

1 3事業拠点の拡充



2 3つの新たな主力事業の確立に向けた進捗状況(2025年4月開示)

▶ 扱い品目の拡大

MOFという吸脱着剤を使い排ガスからアンモニアを選択的に吸着・回収(ダイセキ・2023年10月開示)

排ガス・廃液からのアンモニア回収

	2026年度	2030年度
売上高計画	3億円	30億円
営業利益計画	1億円	10億円

堆肥製造施設からのアンモニア回収

MOFという吸脱着剤を使い堆肥化施設からアンモニアを選択的に吸着・回収(ダイセキ・2025年6月開示)

	2026年度	2030年度
売上高計画	0.5億円	4億円
営業利益計画	0.1億円	1億円

▶ 廃プラスチックリサイクル事業への参入

ダイセキ環境ソリューションが杉本商事グループをM&Aして廃プラスチックのリサイクル事業に参入(ダイセキ環境ソリューション・2023年3月開示)

杉本商事グループ事業

	2026年度	2030年度
売上高計画	22億円	28億円
営業利益計画	3億円	4億円

その他廃プラスチック事業

焼却処理されていた廃プラスチックのマテリアルリサイクルを推進(ダイセキ環境ソリューション・2025年1月開示)

	2026年度	2030年度
売上高計画	-	15億円
営業利益計画	-	4億円

▶ その他サーキュラーエコノミー関連ビジネス

M&A、アライアンス等様々な可能性を検討中

鉱物油再生等

	2026年度	2030年度
売上高計画	-	4億円
営業利益計画	-	1億円

合計	2030年度
売上高計画	81億円
営業利益計画	20億円